

2026年6月8日

市町村議会議長 様

2026年原水爆禁止国民平和大行進へのご協力のお願い

2026年原水爆禁止国民平和大行進

埼玉県実行委員会

代表者 伊藤 稔

貴職におかれては益々ご健勝にてご活躍され、地方自治の発展、住民の福祉と生活の向上、安全を守るために尽力されていることに対し、心から敬意を表します。

1958年より、核兵器の廃絶を求めて原水爆禁止国民平和大行進が毎年とりくまれています。2026年の国民平和大行進は、5月6日東京・夢の島から広島に向かうコースの出発を皮切りに、北は北海道、南は沖縄からすべての都道府県を網羅し8月の被爆地広島をめざして歩みをすすめています。

今世界では、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ攻撃、アメリカの奇襲攻撃によるイランとの戦争の勃発など、核保有国がかかわっての紛争が連続しており、核戦争の可能性も含め、核と平和をめぐる環境はたいへんに危険な状態にあります。4月27日から5月22日まで開かれていた第11回NPT（核不拡散条約）再検討会議は、2015年、2022年に続いて最終合意文書がつかれないまま閉会となりました。3回連続しての決裂という事態は、初めてのことであり、核の不使用・不拡散、核軍縮の最大の枠組みであるNPTの規範力の陰りを心配する声もあります。

しかし、2024年に日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、昨年3月には核兵器禁止条約第3回締約国会議が成功を収めるなど、非核・平和を希求する運動も大きく前進しています。NPT再検討会議でも、核廃絶をめざすグローバルサウス諸国、NGOや市民団体の奮闘が目立ちました。世界の多くの人びとは、核兵器の廃絶に向けて前進を続けています。

私たちは、世界の人びとと連帯し、「戦争ではなく平和を」、「核による威嚇ではなく核兵器廃絶を」の声をひろげていくために歩き続けています。

埼玉県内では、原水爆禁止国民平和大行進に7月5日から7月27日まで取り組みます。核兵器廃絶を願う県民・市民の声に応えて、例年にも増してお力添えを賜りたく下記の諸項目についてご支援・ご協力をお願い申し上げます。

記

(1) 2026年原水爆禁止国民平和大行進にあたり、歓迎・激励のご挨拶、メッセージなどをしていただければ幸いです。一步でも行進にご参加いただくことや支持・協賛募金へのご協力につ

いてもご配慮いただきますようお願いいたします。

(2)「支持・賛同ペナント」にご署名いただき、行進団に託してください。ペナントは、平和公園に寄せられた折鶴の再生紙、さらには昨年広島に結集したペナントを再生して作られています。今年も8月に広島に全国から結集します。

(3) 被爆国日本の政府が核兵器の禁止・廃絶に役割を果たすよう、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご署名ください。日本原水協、日本被団協、原水禁などにより、これまでに344万9012筆(2025年11月12日現在)の署名が日本政府に提出されています。すでに署名されている場合には、署名をひろく呼びかけていただければ幸いです。

(4) 被爆者の平均年齢は86歳を超えています。被爆体験の継承は喫緊の課題です。被爆の実相と核兵器使用の非人道性を次世代に伝えひろげるために、日本被団協が作成した「原爆と人間」などの写真パネル展、広島市立基町高校の生徒が作成した「原爆の絵」展などをすべての小中学校や高校、公民館などで開催してください。埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)が、県内の市町村に要請している「被爆者の声を聴く証言会」を開催してください。

(5) 唯一の被爆国である日本政府が積極的な役割を果たすよう、貴自治体として日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める「意見書」を提出してください。

<連絡先>

2026年原水爆禁止国民平和大行進埼玉県実行委員会

住所 埼玉県さいたま市浦和区2-3-10 黒沢ビル3B

原水爆禁止埼玉県協議会内

TEL 048-767-8020